



ドローンの基礎知識や操作方法を株式会社豊富の松浦真悟氏(左端)から学びました

ドローンを使ったスマート農業の実習

附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールドで農場実習を実施しました。

ロボットやICTを活用したスマート農業で省力化を目指す

日本の農業は、人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多く、省力化や負担軽減、人手の確保が課題となっています。

そこで、ロボット技術やICT(情報通信技術)を駆使した「スマート農業」の活用が期待されています。

農学部では、8月、静岡県、静岡市、静岡商工会議所、JA、静岡大学を中心メンバーとする「静岡市スマート農業研究会」と連携して、2年生を対象にドローン操作の実習を行いました。

農林水産省によるスマート農業の今後の展開を

見据え、将来を担う学生たちにドローン技術に実際に触れる機会を持ってほしいとの狙いから実習を実施しました。

農学部による新たな農知の創造

農学部ではプロジェクト研究所として令和2年1月より「農知創造研究所」(所長 切岩祥和教授)を組織し、これまでの農学部が主に培ってきた生理学的知見に工学や情報学の技術を組み合わせた新しい技術の構築を目指しています。

また、静岡大学が中心メンバーである「静岡市



スマート農業研究会」は、静岡市におけるスマート農業の推進をサポートするため、講演活動や課外授業など積極的に活動をしています。今後も、産官学連携を深め、地域に寄り添いながら地域の産業の活性化に貢献し、新たな農知の創造に挑戦します。

実習後にドローンを操作して空から集合写真を撮影しました



静大農場の果物で作ったマーマレードが国際コンテストで金賞に!

4年連続、金賞受賞の快挙!

イギリスで開催された国際コンテスト「ダルメイン・マーマレードアワード2021」で静岡大学農学部が「四季のジャム工房 やまゆスイーツ」(藤枝市)とともに開発したマーマレード3商品(金柑、黄力ボス、柚子)が金賞に輝きました。4年連続の快挙です。

商品に使われている果物は、農学部の藤枝フィールドで農業散布数を通常より約1割減らして栽培したものです。実際にテストングをして糖と酸味のバランスがよいものを選定



毎年12月頃に収穫する金柑

し、加熱時間にこだわって果物のうま味を最大限に活かした手作りマーマレードです。添加物を使用せず、優しい味わいが特徴です。この5年間で柑橘類20種類、ブルーベリーやキウイフルーツ数種類が開発されています。

金賞受賞を記念して学生がラベルをデザイン

藤枝フィールドで卒業研究に取り組んでいる農学部4年生の高橋理緒さんは、金賞受賞を記念して瓶のラベルをデザインしました。果物のイラストと「静大農場」の文字、「金柑 まーまれーど」などの商品名、そしてやまゆの屋号がワンポイントで入っています。ヤマ型と「ユ」で表した屋号は店主の小野延子さんの高祖父の代から営まれていた食品加工業の屋号に由来します。優しい味わいのジャムと同様、開発パートナー同士の想いが詰まったラベルになりました。



- 金柑 植物生産管理理学研究室(八幡昌紀准教授)により品種改良され、果皮が柔らかく、色も濃く、味も濃厚でマーマレードに適しています。
- 黄力ボス 果皮果肉が黄色の成熟した状態で収穫され、上品な香りと爽やかな酸味が特徴です。
- 柚子 完熟した状態で収穫された本柚子は、酸味と甘みのバランスが調和しています。

やまゆスイーツ
小野延子さん



[購入先]

四季のジャム工房 やまゆスイーツ
Mail:yamayusweets@yahoo.co.jp
Instagram:IG@yamayusweets
Tel:054-645-3935
やまゆスイーツ ウェブサイト----->



静岡大学 農学部
附属地域フィールド科学教育研究センター
藤枝フィールド
Mail:nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp
Tel:054-641-9500